

『とくしま回帰』総合戦略（仮称）における具体的な施策の例

1. 新しい人の流れづくり

■ 移住交流の推進

- 「住みたい」「働きたい」とくしま回帰モデルの発信
 - ・ 移住コンシェルジュの配置、移住お試し体験の実施など、U I J ターンや二地域居住の情報発信・受入体制を強化
 - ・ 全国をリードする「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」（半X半ICT）のさらなる推進
 - ・ 大都市圏のプロフェッショナル人材を呼び込み地元企業とのマッチングを推進
 - ・ 若い世代の回帰とともに、本県ゆかりの高齢者の「とくしま回帰」を推進
- 農林水産業にチャレンジできる魅力あるフィールドを全県的に展開
 - ・ 産学官の連携によるインターンシップの実施
 - ・ H28.4月創設予定の徳島大学「生物資源産業学部（仮称）」やアグリビジネススクールをキャリアアップの拠点として最大限に活用
 - ・ 新規就業支援による定住の促進

■ 企業・政府関係機関の誘致

- 企業の「成長発展の地・とくしま」への本社機能の回帰を促進
 - ・ 「一国二制度」となる税制改正と本県独自の企業立地優遇制度の拡充の両面から大都市圏の企業の本社機能誘致を強力に推進
- 政府関係機関の「フィールドワークの拠点・とくしま」への回帰に挑戦
 - ・ フィールドワークの拠点として本県の強みを活かし、研究機関や研修所などの政府関係機関の地方移転を誘致

■ 県内高等教育機関の充実と若者の定着促進

- 県下全域に広がる大学の「地（知）の拠点」との連携を強化
 - ・ 徳島大学新学部創設を契機とした課題解決のフィールドの拡大
 - ・ 県内外の高等教育機関のサテライトオフィス設置を通じた地方創生人材の育成

2. 地域における仕事づくり

■ グローカルに「稼ぐ力」の創出

- ▶ 世界を視野に！徳島の強みを活かした成長ビジネスの新展開
 - ・「2つの光」を活用した成長関連産業のさらなる集積を推進エンジンとした経済好循環の実現
 - ・スーパーハイビジョン（4K8K）を核とした新たな産業集積の推進
 - ・ロボット関連技術によるものづくり産業の高度化
 - ・地域イノベーションにつながる外資系企業による県内投資の促進
 - ・コールセンターをはじめとする情報通信関連産業の集積を推進
 - ・自然エネルギー立県として、再生可能エネルギーの導入や水素エネルギーの活用による新たな事業展開を加速
- ▶ 世界市場を見据えた6次産業化の徳島モデル創出
 - ・徳島大学「生物資源産業学部(仮称)」創設を起爆剤とした産学官連携の新展開
 - ・「とくしま特選ブランド」のプレミアム化による生産拡大
 - ・県立高校における6次産業化を担う人材の育成

■ 「観光立国」の先陣を切る

- ▶ 「訪日外国人2000万人」の新たな流れを呼び込む
 - ・東京五輪を見据えた官民挙げての「Wi-Fi環境」、「多言語表記」の整備
 - ・東京五輪を見据えた国際イベントの展開
 - ・大型外国クルーズ客船の寄港促進
 - ・世界に通用する観光ブランド「にし阿波」の創造
 - ・四国の右下「アウトドアスポーツの楽園」を世界に発信
 - ・航空路線の利便性向上・空港機能の強化
 - ・「世界遺産」登録への挑戦
- ▶ 徳島ならではの魅力ある大規模集客イベントの拡大
 - ・「とくしまマラソン」2万人大会の開催と「マチ★アソビ」参加者数のさらなる拡大
 - ・「阿波おどり」の通年活用による国内外からの誘客の促進

■ 地域産業の飛躍を支える人づくり

- ▶ 次代を担う産業人材の育成・確保と技術の継承
 - ・職業訓練によるものづくり人材の育成とスキルアップ
 - ・第1次産業における新規就業者の支援と建設産業の担い手育成
- ▶ 実践的な「もうける」ICT人材の育成
 - ・徳島の強みを活かしたICTワーキングスタイルの確立
 - ・企業・人材の交流等を通じて「新たな知のイノベーション」を生み出す

3. 結婚・出産・子育ての環境づくり

■ 「少子化対策緊急強化基金」を活用した切れ目のない支援

▶ 結婚の希望を実現する「攻め」の婚活支援

- ・ 県内企業・団体のネットワーク構築による出逢い・交流の場の創出
- ・ 地域での結婚支援活動コーディネーターの育成
- ・ 地域の実情に即した婚活事業を支援

▶ ゆとりある豊かな子育て家庭の実現

- ・ 多子世帯をはじめ子育て世帯の経済負担軽減を強化
- ・ 安心して子育てできる医療情報の提供
- ・ 配偶者間の特定不妊治療に要する経済的負担の軽減

▶ 子育てを支える温かい地域社会の形成

- ・ 全県下に広がる「ファミリー・サポート・センター」における病児・病後児保育の実施
- ・ 高齢者の参加による世代を超えた子育て支援の推進や、保育士・子育て支援員等の保育人材の確保
- ・ 「子ども・子育て支援新制度」への円滑な移行に向けた市町村の主体的な取組を支援

■ 若い世代の正規雇用のさらなる拡大

- ・ 県下全高校におけるインターンシップ（就業体験）の実施
- ・ 「ジョブカフェとくしま」等における適性を活かした職業選択による就業支援
- ・ 全国トップクラスの正規雇用率の維持

■ 仕事と子育てが両立する働き方の実現

- ・ 企業におけるテレワーク導入の推進と県における先導的取組
- ・ 「はぐくみ支援企業」の認証や、「イクボス」の養成など子育てしやすい職場づくりを推進

4. 活力ある暮らしやすい地域づくり

■「課題解決先進地域」の加速

- 課題解決先進市町村の支援
 - ・地域の活力創出に向け、市町村や民間のモデル的な取組を発掘・支援
 - ・市町村のサテライトオフィス誘致を強力に支援
- 「地方創生特区」の積極的な活用
 - ・本県の強みを活かした規制緩和策を打ち出して特区指定を受ける
- 「知恵は地方にあり」を具現化する政策提言の実施
 - ・「日本創生」の実現に繋げる「課題解決先進県・徳島」からの処方箋を発信

■多様な人材が輝く地域づくり

- 「女性の活躍元年」からのステップアップ
 - ・女性活躍のさらなる機運醸成
 - ・女性の就業やスキルアップ、創業に対する伴走型支援の強化
- 元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現
 - ・意欲や能力のある高齢者の就労促進
 - ・地域貢献活動の担い手育成と活躍の場の創出
- 若者の自己実現へのチャレンジを応援
 - ・課題解決型人材の育成と起業支援
 - ・「Tokushima英語村」プロジェクトでのグローバル人材育成と交流促進
 - ・地域活性化に向けた高校生と地域の連携推進
 - ・人口減少社会に対応した新しい小中一貫教育の徳島モデルを発信

■地域間連携による取組の進化

- 関西広域連合（全国初の府県域を越える意思決定機関）
 - ・地方創生に向けた徳島発の広域プロジェクトの推進
 - ・「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催等を通じた徳島の魅力発信
- 四国知事会・近畿ブロック知事会・中四国サミット
 - ・「地方創生の旗手」として、地方創生に向けた課題の検討と施策提言の実施へ各ブロック知事会を先導